



クマに注意



県内でも実際に人身被害が発生中！
長年クマを見たことがない場所でもクマと遭遇するおそれがあります。

クマとの遭遇を避けるために

◇朝夕の行動は避ける

朝夕はクマが活発に活動します。(注意…クマは昼間も行動します)

◇周囲の確認をする

- ・クマは聴覚や嗅覚が人より優れています。人の気配を感じたクマは通常、自ら人を避けます。単独行動を避け、ラジオ、クマ鈴などで大きな音を出して行動しましょう。
- ・山菜はクマが好んで食ます。山菜採りの際は、周りの気配に注意しましょう。
- ・溪流沿い等は水の音で、クマも人もお互いに気づかず接近してしまうことがあります。

◇クマのいる場所に近づかない

森林はクマの生息地で、どこにいてもおかしくありません。クマの足跡や糞などを見つけたら、それ以上近づかずに引き返しましょう。

◇子グマを見たら立ち去る

子グマの近くには必ず母クマがいます。母クマは子グマを守るために、神経質になっており、人がクマと近い距離にいと攻撃することがあります。子グマを見かけたら、そのまま、そっと立ち去りましょう。また、母クマの姿は見えなくても、子グマのそばには必ずいると思ってください。

◇飲食物は必ず持ち帰る

クマに人の食べ物の味を覚えさせないために、必ず自宅に持ち帰りましょう。

◇犬は連れて行かない

人の気配を感じたクマは、身を隠して人をやり過ごそうとしますが、一緒にいる犬に吠えられるなどすると、人へ攻撃をする場合があります。犬を連れて森林へ入るのはやめましょう。

◇住宅・施設等の周りにクマを寄せ付けるものを屋外に長時間放置しない

以下の物は、建物にクマを引寄せる原因になります。適切な管理や処分をしましょう。

- | | |
|----------------|----------|
| ・生ゴミ（ゴミ箱） | ・飲み残しの飲料 |
| ・ペットフード | ・漬物 |
| ・雑排水（グリーストラップ） | ・油性塗料、燃料 |

◇里地にクマを寄せ付けない対策を！

住宅周辺のヤブを刈り払う等行い、クマと人の生活圏の住み分けを行いましょう。
視界の確保を行うことで、クマは人に気づいて人里に下りてこないようになります。

